



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月29日

上場会社名 株式会社 エンチャー

上場取引所 東

コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 秀男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,277	6.5	450	315.5	426	412.4	457	959.1
2020年3月期第1四半期	9,648	2.3	108	33.3	83	38.5	43	50.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 525百万円 (3,053.3%) 2020年3月期第1四半期 16百万円 (80.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	66.89	—
2020年3月期第1四半期	6.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	37,279	9,026	24.2	1,320.00
2020年3月期	35,839	8,534	23.8	1,248.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,026百万円 2020年3月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が収束に向かう見通しが困難であり、当社グループに与える影響が現段階において合理的に算定することができないため未定とし、合理的な算定が可能となった時点で公表致します。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,857,497 株	2020年3月期	6,857,497 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	19,341 株	2020年3月期	19,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,838,156 株	2020年3月期1Q	6,838,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大における緊急事態宣言の発令がされ、外出自粛要請や各自治体の営業自粛要請等により個人消費は停滞し、経済活動は大幅に低下することとなりました。非常事態宣言は解除されましたが、その後の動向が経済に大きく影響する懸念もあり、先行きは一層不安定な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、外出自粛要請や自治体の営業自粛要請により、「巣ごもり消費」が発生する等、個人消費に大きな変化が生じております。

このような状況の中で当社グループは、緊急事態宣言中に営業時間の短縮や一部店舗の休業等がありましたが、生活必需品を提供する社会的なインフラとしての役割を全うし、地域の皆様の生活を支えるべく、感染拡大防止に努めながら店舗営業を継続致しました。

また、人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No.1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根ざした品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入力とコスト削減意識の強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、業務の見直しなどによる働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、2020年5月、愛知県春日井市の「ジャンボエンチョー高蔵寺店」を業態変更し、ペットショップ「ブースクエア高蔵寺店」及びアウトドアショップ「SWEN高蔵寺店」としてリニューアルオープン致しました。また、同月、愛知県豊橋市にハードウェアショップ「ハードストック豊橋」をオープン致しました。以上の3店舗を開店し、第1四半期連結会計期間末現在における店舗数は55店舗（ホームセンター23店、ハードストック10店、ダイソー2店、ブースクエア2店、c a s a 3店、SWEN13店、c a s a & SWEN 2店）となりました。なお、非常事態宣言中は営業時間の短縮や一部店舗を休業しておりましたが、非常事態宣言解除後には休業要請も解除され、6月以降は全店舗において、引き続き感染拡大防止に努めながら通常時間に戻して営業しております。

販売につきましては、ホームセンター事業において、新型コロナウイルス感染防止に関連する商品や、外出自粛に伴う「巣ごもり消費」効果により、DIY用品全般、園芸用品、収納家具等が伸長し、売上高は増収となりました。専門店事業においては、アウトドアショップは休業の影響により前年を下回りましたが、ハードウェアショップは新店の寄与に加えて既存店も堅調に推移し、事業全体の売上高は増収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,277百万円（前年同期比106.5%）となりました。利益につきましては、売上総利益率が向上した他、チラシや集客イベントの自粛や営業時間短縮、休業等の影響により販管費が減少し、営業利益は450百万円（同415.5%）、経常利益は426百万円（同512.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は457百万円（同1,059.1%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,440百万円増加し、37,279百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,355百万円増加し、14,331百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,008百万円、受取手形及び売掛金の増加136百万円、流動資産のその他の増加214百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、22,948百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少46百万円、建設仮勘定の増加69百万円、投資有価証券の増加98百万円、繰延税金資産の減少28百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ949百万円増加し、28,253百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,591百万円増加し、18,403百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,598百万円、短期借入金の減少298百万円、流動負債のその他の増加246百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ642百万円減少し、9,850百万円となりました。これは主に長期借入金の減少588百万円、退職給付に係る負債の減少34百万円、固定負債のその他の減少35百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ491百万円増加し、9,026百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加423百万円、その他有価証券評価差額金の増加69百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、24.2%（前連結会計年度末は23.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は前年を上回りましたが、連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が収束に向かう見通しが困難であり、当社グループに与える影響が現段階において合理的に算定することができないため未定とし、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176	3,185
受取手形及び売掛金	841	977
商品	9,395	9,388
仕掛品	4	6
貯蔵品	28	29
その他	529	744
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,976	14,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,790	6,744
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	98	168
その他（純額）	656	683
有形固定資産合計	19,880	19,931
無形固定資産	88	88
投資その他の資産		
投資有価証券	380	478
長期貸付金	786	761
敷金及び保証金	1,334	1,333
繰延税金資産	119	91
その他	276	265
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,893	2,928
固定資産合計	22,863	22,948
資産合計	35,839	37,279
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,306	6,905
短期借入金	9,324	9,025
未払法人税等	68	112
ポイント引当金	29	30
その他	2,081	2,328
流動負債合計	16,811	18,403
固定負債		
社債	230	230
長期借入金	8,353	7,764
退職給付に係る負債	273	239
資産除去債務	589	604
その他	1,046	1,011
固定負債合計	10,492	9,850
負債合計	27,304	28,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,241	2,664
自己株式	△17	△17
株主資本合計	8,562	8,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	113
退職給付に係る調整累計額	△70	△72
その他の包括利益累計額合計	△27	40
純資産合計	8,534	9,026
負債純資産合計	35,839	37,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,648	10,277
売上原価	6,870	7,248
売上総利益	2,777	3,028
営業収入	316	287
営業総利益	3,094	3,316
販売費及び一般管理費	2,986	2,866
営業利益	108	450
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	9	9
その他	3	3
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	33	32
その他	9	9
営業外費用合計	43	41
経常利益	83	426
特別利益		
違約金収入	—	120
特別利益合計	—	120
特別損失		
減損損失	9	—
特別損失合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	73	546
法人税、住民税及び事業税	9	86
法人税等調整額	20	2
法人税等合計	30	89
四半期純利益	43	457
親会社株主に帰属する四半期純利益	43	457

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	43	457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	69
退職給付に係る調整額	△5	△1
その他の包括利益合計	△26	68
四半期包括利益	16	525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16	525
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りにおける一定の仮定)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、当社グループの業績に一定の影響を与えており、この状況が2021年3月期の上期まで続くと仮定して、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。